

問 現況復旧でなく抜本的改良を

答 国の基準の改正が必要である



日本共産党 議員団 山根 昇

問 災害発生後自治会を中心とした住民の協力・多くのボランティア支援に感謝します。共産党議員団も現場を訪ね、要望を行政に届け、8月16日には8項目25点の緊急要望を市長に申し入れ、一宮市民局に3人の職員が増員されました。

市長 自治会長さんを先頭に住民のみなさんの協力が早い復旧につながった。迂回路はぜひ実現にむけ努力したい。

問 「また前と同じ所が、水没し崩落した。現況回復では、税金のムダ使いになるだけ」と住民の嘆きである。河川堤防

や田の護岸は、かさ上げ改修すべきである。又河床が上昇した所では、土砂・岩石を浚渫すべきである。

市長 思いは同じであり、要望して行きたい。

問 今回は橋の橋台や欄干に流木が堆積し、結果としてダム状になり、水流が道路を流れ人家に大被害を与えた。流木には間伐材や根付きの生木もあった。山の管理保全に問題があったのではないか。又、橋台が橋の中心にあたりして、橋の改良も急を要する。どうか。

市長 間伐や管理保全のあり方を見直す。橋のかけ方も検討を要すると考えている。

問 県のフェニックス共済加入者も少なく、国の生活再

建支援法での助成額も少ない。家屋や店舗などの解体処理への助成もない。生活の足である自動車も同様である。被災者への生活支援・応援に公的助成を新設・増額すべきである。

市長 財源的な面からも各種融資制度を利用してほしい。

問 災害ゴミの処理が一番遅れ、様々な問題があった。いつまでかかるのか。

生活環境部長 9月末まで、スポニックで受け入れし、10月初めに搬出を終了し、グラウンド整備したい。

問 7月に「まちづくりと人権問題に関するアンケート」が、2160人を対象に実施されている。33問の設問中18問が同和問題に関することである。



一宮町福中

一宮では人権と教育、文化、教養など5分野で自治会ことに学習している。同和問題に偏重せず、生涯学習をすべきである。

市長 前市長の決裁で実施されたものである。検討してみたい。

問 今回の水害で地場産業工建が困難とのこと。隣接の農地利用の時、特例許可や転用申請を短くすべきである。

市長 希望に沿えるよう進めているところである。